

令和 6 年 11 月 22 日定例記者会見

【市長あいさつ（要旨）】

早いもので、今年ももう 1 カ月あまりを残すのみとなった。今年は 1 月 1 日の能登半島の地震から始まり、夏には日向灘沖の地震もあり、災害が多かったという印象がある。また、昨年に引き続き大変暑い夏でもあった。災害や紛争、気候変動など、今年は我が国内外で心配なことが増えている状況だと感じた一年であった。

来年は小牧市制施行 70 周年という記念の年でもあり、よい年となるよう祈念しているところ。70 周年記念事業については既にいくつか発表しているが、「70 年の挑戦 つなごう未来へ 夢とキラめくこまきびと」というコンセプトで、市民の皆さんとともに市への愛着と誇りを醸成しながら、未来につながるさまざまな取組や新たな挑戦を進めてまいりたい。

本日は、あいちウィークの「県民の日 学校ホリデー」として、市内の小中学校が休業日である。中学生以下の皆さんには、巡回バスの無料乗車や市民四季の森のディスクゴルフ場とパークゴルフ場の無料開放、スタンプラリーなどを実施している。子どもたちが家族とともに過ごすことができる一日にしてほしい。市役所においても「休み方改革」として、この学校ホリデーに合わせて職員の積極的な休暇取得を呼びかけている。

国の方では選挙があり、今後の政権運営の不透明感が増している。市だけで解決できない、国全体での議論が必要な課題が非常に多岐にわたっていると感じる。今年に入ってから「人手不足が非常に顕在化している」という話をする機会が増えた。愛知県市長会としても、小牧市独自としても、さまざまな機会をとらえて国に対して物を言っていく必要があると思っている。

人件費も高騰しており、市役所も会計年度任用職員のボーナスや勤勉手当の支給で 6 億円ほど予算が膨らんでいる。今後は公務員給与や地域手当の改定も予定されている。資材価格や建設単価など物価の高騰もあり、財政的にも厳しさは増し、苦慮しているところである。

明るい話題として、10 月に名古屋市鶴舞に日本最大のスタートアップ支援拠点である「Station Ai」がオープンした。大村知事も「日本でも最大の、そして Station F に並ぶ拠点に」と非常に力を入れておられる。この Station Ai は、スタートアップ企業が 500 社、パートナー企業が 200 社入居するということで進められているが、小牧市としても 12 月からパートナー企業として入居することとなった。これまでも商工会議所と連携をして企業の支援を進めてきた中で、県内のスタートアップ企業とも革新的な

事業連携や新事業創出など、さまざまな形で今後に繋がるような支援ができればと思います、参加させていただいた。次の時代をリードする企業を育てていくことは、地域活性化はもとより、地域や社会のさまざまな課題を解決していく上で必須であり、社会全体として新陳代謝が図られていくことが、経済成長や次世代の社会づくりにつながっていると思っている。愛知県とも連携して進めていきたい。

本日の案件は、令和6年小牧市議会第4回定例会への提出議案である。上程議案数は条例案7件、一般議案6件、専決処分承認案1件、補正予算案11件、人事案1件、諮問1件の合計27件を予定している。

また、桃花台線旧車両基地用地の利活用に関するサウンディング型市場調査や駅前のイルミネーション、KIA30周年、危険ごみの出し方の変更、年末年始の風物詩である駅伝とシティマラソン大会についてお話をさせていただく。

【説明要旨】

■令和6年小牧市議会第4回定例会提出議案について

[条例案]

- **小牧市職員旅費支給条例の一部を改正する条例**
国家公務員等の旅費に関する法律等の改正に準じ、旅費に係る種目及び旅費の支給方法を見直すもの。
- **刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例**
懲役及び禁錮の廃止並びに拘禁刑の創設に伴い、関係条例について所要の規定の整備を行うものもの。
- **小牧市地域包括支援センターの運営方針並びに職員に係る基準及び職員の員数を定める条例及び小牧市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例**
介護保険法施行規則等の改正に伴い、地域包括支援センター職員の員数に関する基準の見直し等を行うもの。
- **小牧市国民健康保険条例の一部を改正する条例**
国民健康保険法施行令の改正に伴い、引用する規定の整備を行うもの。
- **小牧市遺児手当支給条例の一部を改正する条例**
令和6年11月以後の月分の遺児手当の支給に係る所得限度額を、児童扶養手当の支給に係る所得限度額に準じた額とするもの。
- **小牧市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例**

第 16 負担区の 1 平方メートル当たりの負担金額を 500 円とするもの。

- **小牧市市立学校設置条例の一部を改正する条例**

小牧市立第一幼稚園の位置を変更するもの。

[一般議案]

- **小牧文津調整池整備工事請負契約の締結について**

請負契約金額を 12 億 358 万 8,100 円とし、

請負契約の相手方を徳倉・可児特定建設工事共同企業体とするもので、

契約の方法は、3 者による制限付一般競争入札を総合評価落札方式により行った。

- **小牧南調整池整備工事請負契約の締結について**

請負契約金額を 1 億 8,577 万 6,800 円とし、

請負契約の相手方を可児建設株式会社とするもので、

契約の方法は、4 者による制限付一般競争入札を総合評価落札方式により行った。

- **事故に係る損害賠償の額の決定について**

小牧市民病院における事故に係る損害賠償の額を 2,850 万円に決定するもの。

- **事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について**

令和 6 年 7 月に市民四季の森で発生した隣接地への倒木に伴う損害賠償の額を 80 万 7,712 円に決定するもの。

- **こまき市民交流テラスの指定管理者の指定について**

特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワークを令和 7 年 4 月 1 日から 3 年間指定するもの。

- **小牧市篠岡児童館の指定管理者の指定について**

特定非営利活動法人 10 人村を令和 7 年 4 月 1 日から 3 年間指定するもの。

[専決処分承認案]

- **令和 6 年 10 月 2 日付けの令和 6 年度小牧市一般会計補正予算（第 3 号）の専決処分について**

補正前の額に 8,000 万円を追加し、632 億 8,138 万 3 千円となった。

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行経費である、投票管理者等の報酬、職員手当、選挙公報配布委託料及び事務経費等である。

[補正予算]

《概要》

- 一般会計

補正前の額に 23 億 1,727 万円を追加し 655 億 9,865 万 3 千円とするもの。

- 特別会計

国民健康保険事業特別会計をはじめ 7 会計で 4 億 2,045 万 1 千円を追加し 291 億 6,603 万 3 千円とするもの。

- 病院事業会計

収益的収入で 2,905 万円を増額し 246 億 1,816 万 1 千円とし、
収益的支出で 2 億 2 万 4 千円を減額し 270 億 5,667 万円とするもの。
資本的収入は財源振替をするもの。

- 水道事業会計

収益的収入で 16 万 4 千円を増額し 29 億 7,716 万 1 千円とし、
収益的支出で 465 万 9 千円を減額し 29 億 5,506 万 3 千円とするもの。
資本的支出では、522 万円を減額し 19 億 3,443 万 3 千円とするもの。

- 下水道事業会計

収益的収入で 144 万 7 千円を増額し 31 億 170 万 4 千円とし、
収益的支出で 144 万 7 千円を増額し 30 億 5,097 万 2 千円とするもの。
資本的収入では 131 万 7 千円を増額し 15 億 4,469 万 3 千円とし、
資本的支出では 131 万 7 千円を増額し 20 億 667 万円とするもの。

《令和 6 年度小牧市一般会計補正予算（第 4 号）》

- 歳入

都市ブランド戦略推進事業寄附金から（仮称）農業公園管理事業寄附金までの寄附金は、企業版ふるさと納税など、企業様からのご寄附により、それぞれ増額するもの。

- 歳出

総務一般事業の賠償金は、令和 6 年 7 月に市民四季の森ディスクゴルフ場南側で起きた倒木事故に伴う損害賠償金。

過誤納還付金は、上半期の市税等の還付金額が例年以上であったため、不足見込み額を計上するもの。

返還金は地域生活支援事業費等補助金等をはじめ 7 件あるが、すべて令和 5 年度の精算に基づくもの。

障害福祉システム修正委託料は、就学前障害児の発達支援の無償化に係る認

定手続の簡素化や、同一世帯における複数児童の上限額管理等の変更に対応するためのシステム改修に要する費用。

訓練等給付事業と児童発達支援等給付費は、当初の見込みより利用人数や利用日数などが増加していることから増額するもの。

公費負担医療制度関係手続電子化システム改修事業費補助金は、市内にある自立支援医療指定医療機関に対し、現在の受給者証とマイナンバーカードを一元化するためのシステム改修に要する費用を給付するもの。

障害者相談支援事業負担金と障害者福祉推進事業負担金は、いずれも福祉事業にかかる消費税の課税関係の整理に伴う追加負担分。

子ども医療扶助費から精神障害者医療扶助費までは、それぞれ当初の見込み以上に増加しているため増額するもの。

児童手当は、令和 6 年 10 月以降の制度改正に伴い、支給見込み額を補正するもの。

保育園施設営繕事業は、第二保育園改築に向けて、隣接する土地を購入することに伴う用地購入費と物件移転補償費。

教育・保育事業は、教育・保育施設型給付費、地域型保育給付費、保育施設型給付費について、入園児童数の増加等により、給付費を補正するもの。

生活保護費は、保護世帯の増加に伴い医療扶助費などが大幅に増え、保護世帯への扶助費が当初の見込み以上に増加しているため増額するもの。

健康いきいきポイントシステム修正委託料は、Google 社の仕様変更に伴い、Android 版のウォーキングアプリ alko の歩数取得方法が変更になるため、アプリの改修を行うもの。

産後ケア事業委託料は、当初の見込み以上に利用者が増加しているため増額するもの。

こまき応援寄附金推進事業は、寄附額を当初の 12 億円から 20 億 3 千万円と見込んだことにより、お礼の品等に係る経費を増額するもの。また、こまき応援寄附金関係の基金積立金についても、寄附見込の増額にあわせて各種基金に積み立てるため増額するもの。

企業立地促進補助金は、補助金額が確定したことにより、不用額を整理するもの。

次世代産業推進事業は、中小企業次世代産業設備等導入補助金と、次世代産業販路開拓支援補助金について、いずれも当初の想定を上回る申請が見込まれることから増額するもの。

測量設計委託料は、北西部地区公園の整備事業に合わせて雨水貯留施設を整備するにあたり、実施設計を行うための経費を計上するもの。

定住促進補助金は、当初の見込み以上に申請件数が増加しているため、増額するもの。

公園緑地施設整備工事費は、岩崎山前区画整理事業区域内の岩崎山公園敷地内の崩落対策工事に要する経費を計上するもの。

体育施設整備工事費は、総合体育館の事務所を含む系統の空調機が故障したことによる改修工事費。

人件費は、人事異動に伴う調整などにより減額するもの。

- **繰越明許費補正**

保育園施設営繕事業は、第二保育園改築に伴う用地購入と物件移転補償について、年度内の完了が見込めないため、用地購入費と物件移転補償費を繰り越すもの。

雨水対策事業は、北西部地区公園の整備事業に合わせて雨水貯留施設を整備するための実施設計であり、年度内の完了が見込めないため、委託料を繰り越すもの。

公園緑地施設整備事業は、岩崎山前区画整理事業区域内の岩崎山公園敷地内の崩落対策工事と、北西部地区公園の整備事業に合わせて雨水貯留施設を整備するための実施設計について、年度内の完了が見込めないため、工事費等を繰り越すもの。

総合体育館施設整備事業は、総合体育館の事務所を含む系統の空調機が故障したことによる改修工事について、年度内の完了が見込めないため、工事費を繰り越すもの。

- **債務負担行為補正**

市長車運行管理委託事業は、令和7年4月以降の市長車の運行委託をするにあたり、その受託者の準備期間を確保しようとするもの。

市制70周年記念品購入事業は、令和7年5月に開催する市制70周年記念式典の折に参加者に配布する記念品を購入するもので、調達に時間を要するため設定するもの。

こまき市民交流テラス管理運営委託事業と篠岡児童館管理運営委託事業は、指定管理者の指定をするにあたり、指定期間が複数年度にわたるため、その間の指定管理者への委託料の支出が見込まれることから設定するもの。

ラピオ設備修繕負担事業は、まなび創造館アリーナの空調機器を更新する工

事について、小牧都市開発株式会社に修繕負担金として支出するにあたり、工期が翌年度にまたがるため設定するもの。

道路側溝補修事業から河川水路整備事業までは、公共工事の発注時期を平準化し、建設業者の経営の効率化や安定化、競争性の向上などのため設定するもの。

自主活動支援委託事業は、中心市街地活性化プロジェクト「コマナカ meet」の運営支援等について、複数年度にわたるため設定するもの。

小牧山城再現 CG 制作委託事業は、CG で本来の石垣の姿を再現し、小牧山を訪れる観光客に小牧山城の歴史的価値や魅力をわかりやすく伝えようとするもので、制作が翌年度にまたがるため、設定するもの。

- **地方債補正**

公園整備事業は岩崎山前区画整理事業区域内公園整備事業にかかる公園緑地施設整備工事費の増額に伴う借入額の増額、総合体育館整備事業は体育施設整備工事費の増額に伴い、新たに増額するもの。

《令和 6 年度小牧市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）》

- **歳出補正**

返還金は令和 5 年度の精算に基づくもの、そして人件費の補正。

《令和 6 年度尾張都市計画事業小牧文津土地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）》

《令和 6 年度尾張都市計画事業小牧南土地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）》

《令和 6 年度尾張都市計画事業小牧本庄土地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）》

- **歳出補正**

いずれも人件費の補正。

《令和 6 年度尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）》

- **歳出補正**

宅地擁壁の設置工事費と道路及び宅地の造成工事費等、そして人件費の補正。

- **繰越明許費補正**

造成等工事費について、年度内完了が困難であるため繰り越すもの。

《令和 6 年度小牧市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）》

- **歳出補正**

居宅介護サービス給付費、介護予防福祉用具購入費及び高額医療合算介護サービス費は、いずれも給付費が当初の見込み以上に増加しているため増額するもの。返還金は令和 5 年度の精算に基づくもの、そして人件費の補正。

《令和 6 年度小牧市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）》

- 歳出補正

保険料等負担金は、令和 5 年度分の保険料確定に伴う増額。

《令和 6 年度小牧市病院事業会計補正予算（第 2 号）》

- 収益的収入補正

医療事故損害賠償金の支払いに伴う、損害保険会社からの保険金の増額。

- 収益的支出の補正

人件費の減額と、医療事故による損害賠償金の増額。

- 資本的収入補正

特定防衛施設周辺整備調整交付金の交付決定による国庫補助金の増額と、これに伴う企業債の減額。

- 債務負担行為補正

IS015189 認定取得支援業務委託事業、医療情報システム更新に係るアドバイザー業務委託事業は、それぞれ事業が複数年度にわたるため設定するもの。

《令和 6 年度小牧市水道事業会計補正予算（第 1 号）》

《令和 6 年度小牧市下水道事業会計補正予算（第 1 号）》

- 歳出補正

いずれも人件費の補正。

[人事案]

- 小牧市固定資産評価審査委員会委員の選任について

委員の板津浩平氏の任期満了に伴い、後任者に同氏を選任しようとするもの。

[諮問]

- 人権擁護委員候補者の推薦について

委員の稲山昌敏氏の任期満了に伴い、後任者に船橋充氏を推薦しようとするもの。

■ 桃花台線旧車両基地用地利活用に関するサウンディング型市場調査について

実施の背景

当該用地は、平成 18（2006）年 10 月 1 日に運行を停止した、かつて「ピーチライナー」の愛称で親しまれていた新交通システム桃花台線の車両基地であったが、運行主体である第三セクターの桃花台新交通株式会社の特別清算に伴い、平成 21 年に愛知県と小牧市の共有地となった。

その後、地元の方々から利活用に関する要望をいただくなどしたが、これまでに月極駐車場、パークアンドライド駐車場、送迎用ロータリーなどの利活用にとどまっており、約 6 割が未利用地となっている。

このため一昨年、県と市の職員から成る会議体を立ち上げ、昨年は東部地域の住民を対象にアンケート調査を実施し、市民ニーズの把握に努めるとともに民間活力の導入を視野に入れ、国土交通省が主催した合同サウンディングに参加し、さらなる利活用に向けて検討を進めているところである。

そして、このたび、事業性の検証を深めることを目的として、利活用のアイデアや公募に参入しやすい事業方式などを把握するため、愛知県と小牧市の共同でサウンディング型市場調査を実施しようとするもの。

土地の概要

所在地：小牧市光ヶ丘 6 丁目 43 番

面積：約 33,800 平方メートル（うち約 19,200 平方メートルが未利用地）

サウンディングの概要

「現在の駐車場機能や送迎用ロータリーは維持する」などの条件のもと、資料に記載の「サウンディングの項目」について提案をいただく。

今後のスケジュール

参加申込み受付：11 月 22 日～12 月 21 日正午

民間事業者とのサウンディング：令和 7 年 1 月 21 日～1 月 31 日

実施計画の概要公表：2 月下旬

参加事業者のアイデアやノウハウを保護する必要があることから、調査は個別で行うとともに、実施結果の公表において事業者の名称は公表しない。

■小牧駅周辺イルミネーションについて

今年の冬も駅周辺を彩る「小牧駅周辺イルミネーション」を 12 月 1 日(日)から令和 7 年 2 月 16 日(日)までの午後 5 時～10 時に、にぎわい広場及び駅前のシンボルロードで実施する。

今回のテーマは「NEXT STAGE～さらなる飛躍～」として、市制 70 周年のお祝いムードを演出する。点灯期間中に何度も足を運んでいただけるよう、クリスマスやお正月、バレンタインの時期に合わせてイルミネーションの演出を変更することとしている。

また、にぎわい広場においては 12 月 1 日から 27 日まで、小牧青年会議所が制作した高さ 5 メートルほどのクリスマスツリーが展示されると聞いている。

■小牧市国際交流協会（KIA）設立 30 周年記念式典について

12 月 1 日(日)午前 10 時から、まなび創造館あさひホールにおいて KIA 設立 30 周年記念式典を開催する。式典では、KIA の活動に長年貢献された会員の皆様への感謝状贈呈や外国籍の方の日本語スピーチなどを行う。その後午前 11 時から、記念講演として、大道芸人や数学者として活躍されているピーター・フランクフル氏をお迎えし「真の国際人を目指すために」をテーマにご講演いただく。

午後からは、あさひホールやセンターモールなどにおいて、国際交流ふれあいフェスタを開催し、着物の試着体験や各国のダンスステージ、抽選会などを行う。事前に食券を購入した方を対象に、世界のお弁当の配布も行う。

■危険ごみの出し方の変更について

変更点は 2 点である。

1 点目として、これまで「危険ごみ」として取り扱っていたごみを「発火性危険ごみ」に名称変更し、内容物の発火の危険があるもののみとする。

2 点目として、これまで「危険ごみ」として収集しておりました、包丁やハサミなどの刃物類を「金属類」で収集する。

変更の背景は、現在、危険ごみに分類されているモバイルバッテリーなどは、見た目がプラスチックであることから「プラスチック類」や「破碎ごみ」として不適正に排出されることがあり、これが原因となってごみ収集車やごみ処理施設での発火や火災が発生しているため。

また、本来「破碎ごみ」として分類されるべき割れたガラスや陶器などについて、鋭利なもの、切れるものなど危険なイメージがあることから「危険ごみ」として排出される場合があるため、正しい分別を促す目的ある。

変更により「発火性」というイメージを先行させ、モバイルバッテリーなどの発火の危険を伴うごみを他のごみと区分することで、収集・処理の過程で発火や火災の発生を抑え、安全に収集後の適正処理につなげられると考えている。

実施時期は令和 7 年 1 月とし、今後は広報 12 月号や市ホームページ、出前講座、市公式 SNS などを活用して、広く市民の皆様にも周知する。

年末年始のごみの収集業務については、各戸に配布されているごみ収集カレンダーや市公式アプリ「さんあ〜る」から確認できるほか、広報 12 月号でもお知らせする。広報では粗大ごみの戸別収集、第 1・第 2・第 3 資源回収ステーション、小牧岩倉エコルセンターの休業案内などを掲載する。年末年始はごみや資源の排

出量が多くなることから、計画的に作業を行っていただくよう周知する。

■第 43 回小牧市民駅伝競走大会・第 35 回小牧シティマラソン大会について

第 43 回小牧市民駅伝競走大会

12 月 8 日(日)、パークアリーナ小牧を発着点とする全長 21.8 キロメートルのコースで開催する。一般・高校の部は 1 チーム 5 人、中学の部については 1 チーム 8 人でたすきをつなぎゴールを目指す。

一般の部が 56 チーム、高校の部が 2 チーム、中学男子の部が 12 チーム、中学女子の部が 7 チームの合計 77 チーム、651 名が参加予定。

第 35 回小牧シティマラソン大会

令和 7 年 1 月 26 日(日)、パークアリーナ小牧を発着点とするコースで開催する。

10 キロの部に 1,812 名、5 キロの部に 575 名、2 キロの部に 1,524 名の合計 3,911 名が参加予定。なお、市制施行 70 周年記念として、ロンドンオリンピックとリオオリンピックで活躍された、元体操競技日本代表で本市出身の寺本明日香さんをゲストランナーとして呼びしている。